

2021 年 7 月 13 日

2021 年 6 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判はコロナワクチン関連や各種報告書関連が動き前年を上回った。しかし、前々年比でみると 89%であり、力強さに欠けると思われる。

巻取は株主総会関連や金融関連が動き前年を上回った。しかし、チラシ関連などの動きは弱く、前々年比でみると 69%であり厳しい状況である。

（前年比 平判 108.7% 巻取 104.0%）

再生紙平判、巻取とも国保関連、医療制度のしおりなどが動き前年並みで推移した。しかし、前々年比では 78%であり、再生紙も厳しい状況には変わりはない。

（前年比 再生上質平判 98.7% 再生上質巻取 99.8% 再生上質計 99.1%）

（前年比 印刷用紙 A 107.8%）

<A2 コート>

緊急事態宣言下ではあるが、企業向けのカatalog、パンフ、チラシ等販促物の動きが戻ってきており、また、昨年休刊となっていた出版定期案件もあり、平判、巻取とも前年を上回った。

一方で緊急事態宣言中の自粛要請による各種イベントの中止、延期で各業界の印刷物全般の需要は減少した。

（前年比 平判 105.1% 巻取 107.4% 全体 105.6%）

<A3 コート>

株主総会関連及び学習塾、食品スーパー、ドラッグストア等の定期的なチラシ案件で動きがあったが、継続的な紙離れとコロナ禍の影響により前年を下回った。

（前年比 平判 82.2% 巻取 104.7% 全体 97.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は引き続き自治体毎での細かな支援金の動きも見られたが、金融、生損保、一般の帳票の動きが弱く、前年を下回った。

巻取は生損保、金融関連の動きも弱かったものの、急速なコロナワクチン接種の需要が見られ前年を上回った。

（前年比 平判 95.5% 巻取 110.4%）

<上質フォーム>

旅行関連の落ち込みは先月と同様だった。株主総会関連や、多少、生損保関連の動きが見られたが、前年とほぼ同じであった。

（前年比 99.4%）

<包装用紙>

特殊両更は政府関連、自治体関連の封筒が依然好調で前年を上回った。

(前年比 104.2%)

軽包装は脱プラによる紙への移行で一部動きが見られる。また、印刷関連の雑包装用途の落ち込みに多少の歯止めがかかっており、前年を上回った。

(前年比 115.1%)

片艶晒は官公庁向け、株主招集通知用封筒が前年とほぼ同様な動きを見せた。また、手提げ袋の需要が極僅かに回復しており、前年を上回った。

(前年比 115.2%)

両更晒は手提げ袋の需要が極僅かに回復の兆しが見え、またコロナワクチン用封筒の需要も一部で見られ前年を上回った。

(前年比 112.3%)

純白ロールは大手百貨店向け包装紙の需要の落ち込みに一部回復の兆しが見られた。また、贈答用包装紙にも動きが見られ前年を上回った。

(前年比 138.6%)

包装紙全体でも 116.8%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは食品、菓子関係、日用品は堅調であったが、依然として土産物、ギフト関連は低調であった。

特板紙は POP、ディスプレイ関連は振るわず、テイクアウト、デリバリー向けや通販関係は堅調であった。

チップボールもパッケージ関係で一部動きがあったものの全体では低調であった。

前年の数字が低調であったため、前年対比では前年を上回った。

(前年比 110.7%)